



新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙1503番地166

Tel 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shizen/>

開所 50 周年を迎え、決意新たに

所長 伊藤 彰

新潟県少年自然の家は、昭和 48 年 8 月の開所以来、半世紀以上もの長きにわたり延べ 160 万人以上の皆様にご利用いただいております。おかげさまで 10 月 21 日には、大勢のご来賓の皆様からご参加いただき、50 周年を記念する式典を行うことができました。

さて、開所の頃は、どのような時代だったのでしょうか？

当時、学校教育は高度経済成長に対応し、それを担う人材育成を大きな役割としていました。歴代で最も学習量が多い学習指導要領を基準にカリキュラムが編成され、結果的に詰め込み教育、教育内容の消化不良という批判が起こっています。学習内容を理解している子供は、小学校で 7 割、中学校で 5 割、高等学校で 3 割ではないかということから、「七五三」という言葉が広く用いられました。

また、都市化による身近な自然の減少等々の変化の中で、子供たちの日常生活に即した社会性を育む体験や自然の中での直接的な体験の機会を意図的につくることが求められるようになりました。そこで、少年たちが恵まれた自然環境の中で仲間との宿泊生活を送りながら、自然体験、集団体験、あるいは自己充足体験などを通じて、健康で心豊かな人間形成を図る少年自然の家を設置するという構想が生まれました。そして、文部省は、昭和 45 年度から公立少年自然の家整備費の補助を開始しました。

昭和 48 年の文部省社会教育局長通知「公立少年自然の家について」には、施設の目的が記され、「学校と少年自然の家とは相互の教育機能を補完しあう関係」が強調されています。

少年自然の家においては、少年に学校や家庭では得難い体験をさせ、それによって次に掲げる教育目標の達成に努めること。

- (1) 自然の恩恵に触れ、自然に親しむ心や敬虔の念を育てること。
- (2) 集団宿泊生活を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養うこと。
- (3) 野外活動を通じて、心身を鍛錬すること。

現在は、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代と言われ、将来の予測が困難となり、人々の価値観や要求も多様化しています。さらに、令和 4 年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果では、どの校種においてもいじめの認知件数や不登校の児童生徒数が増加しました。コロナ禍が成長の機会を奪い、学校生活の変化が子供たちの心理的な負担になった影響が顕在化しています。いつの時代にあっても、私たちは「少年自然の家の果たすべき普遍的な使命」を自覚し、進むべき方向を見極め、前進しなくてはなりません。令和元年度にリニューアルとなった施設を最大限に活用しながら、県民の皆様からより一層信頼され、愛される施設となるよう、職員一同、精一杯努力してまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



県教育長あいさつ



記念植樹

令和5年度 主催事業の様子

今年度、主催事業に多くの方からご参加いただきました。これまで実施した事業の様子について紹介します。

＜引率指導者研修会＞

4月20日（木）、5月16日（火）、5月18日（木）、6月22日（木）の4回、「引率指導者研修会」として、午前中に「プログラム研修会」、午後から「調整会議」を行いました。プログラム研修会では、野外炊さん、野外ゲーム、館内ゲーム、キャンプファイア、キャンドルファイアの指導について、説明しました。調整会議では、同日利用の団体同士でスケジュール・場所などを確認するとともに、食堂栄養士と食物アレルギーへの対応を相談していました。

☆ 参加者の声 ☆

- ・同日に活動する他校の先生方や団体の方と直接調整できるのは有難かったです。
- ・所員の方々がとても親身になり相談に乗ってくださったので、日程調整や流れなどイメージができました。

＜チャレンジわんぱく＞

第1回は、7月22日（土）～23日（日）に、53名の参加者が、胎内川河口でのカヌー体験活動を中心に火起こし体験等に取り組みました。第2回は、1月にスキー体験を予定しています。

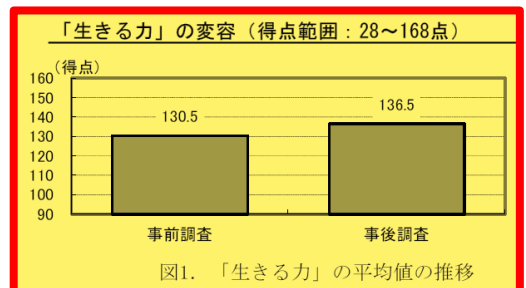
☆ 参加者の声 ☆

- ・初めてのキャンプだったので、最初お父さんと離れる時、少しさみしかったけど、カヌー体験と火起こし体験で友達ができました。「さみしい」「帰りたい」が「楽しい」「もっといたい」に変わって楽しかったし、いい経験になりました。
- ・すごく良い体験ができたと思います。カヌーが上手になったのでうれしかったです。このイベントのおかげで、少し「はすかしがり屋」がなくなって良かったです。すごく楽しかったです。

◎参加者の「生きる力」が向上しました！

教育的な効果を測定するために、独立行政法人国立青少年教育振興機構が開発した「IKR (IKiRu) 評価用紙（簡易版）」を用いたアンケートを行いました。

参加者が活動の前後に回答したアンケート結果を対応のあるt検定で処理したところ、活動の前後で「生きる力」が有意に向上（心理的社会的能力+2.9ポイント、身体的能力+1.8ポイント）していることが分かりました。



＜家族でカヌーに親しもう＞

8月5日（土）、6日（日）の2日間、各日、午前の部、午後の部の4回、合計119名の参加がありました。最高の真夏の青空の下、カヌー活動をとおして、家族の楽しい思い出づくりができました。

☆ 参加者の声 ☆

- ・久しぶりにカヌーができて楽しかったです。初めは、なかなか上手いかなかったのですが、自然の家のスタッフさんに教えてもらえて楽しくできました。カヌーの中に小さい魚が飛び跳ねる思わぬアクシデントも楽しかったです。自然の中で遊ぶって楽しいですね。



プログラム体験会



チャレンジわんぱく



家族でカヌーに親しもう

<ハートフルドリームキャンプ>

9月30日(土)～10月1日(日)の一泊二日、自然体験活動を通して、親子のふれ合いの場を提供することを目的に実施しました。テント設営、野外炊さん、たき火(焼きマッシュマロ)、テント泊、朝食のカートンドック作り、カヌー体験など様々な体験活動をしました。

豊かな自然環境の中で、参加者からは非日常的な貴重な体験ができたという声が多く好評でした。

☆ 参加者の声 ☆

- ・毎回スタッフの方が親切に教えてくださり、たくさんの学びを活動に生かし、とても楽しく過ごさせていただきました。

<国際交流キャンプ>

10月7日(土)～8日(日)、日本で勉学に励んでいる留学生と県内の中高校生が交流を通して、異文化を理解し、視野を広げることを目的に開催しました。今年度は県内の中高校生 35 名と海外からの留学生 12 名が参加しました。1日目は、ボッチャやグラウンド・ゴルフ、花火をしながら親睦を深めました。2日目の交流会では、中高生が住んでいる地域の有名なもの・観光スポット等を紹介した後、留学生の母国の様々な文化(遊び、スポーツ、民芸品づくり等)を体験しました。

☆ 参加者の声 ☆

- ・様々な国の文化を体験したり、留学生と話をしたりすることで、他の国に興味ができました。
- ・日本の中高校生たちに、とてもいい活動だと思います。ずっと続いてほしいと思います。

<一緒にお泊まりキャンプ in たいない>

11月3日(金・祝)～4日(土)に自然体験や生活体験活動を通して、その楽しさや集団生活のルール、人とかかわり方を学ぶことを主眼とするキャンプを開催しました。今回の対象は、園児とその保護者でしたが、県内から 25 家族 50 名が参加しました。1日目は、子供たちが地域の乙まんじゅうやさんで初めてのお買い物に挑戦し、おうちの方はその間「子育ての豆知識講座」に参加しました。2日目は、「樽が橋遊園」で遊具で遊んだり、動物とふれあったりしました。

☆ 参加者の声 ☆

- ・以前参加経験があり、再度の参加でした。今回も、子供が楽しかったと言っていました。ありがとうございました。
- ・子どもが積極的に布団を片付けていたり、準備をしたりいつもは見られない光景を見ることができ、成長を感じました。



ハートフルドリームキャンプ

【親子でたき火体験】

【親子でテント泊】

国際交流キャンプ

【ボッチャで交流】

【グラウンド・ゴルフで交流】



一緒にお泊まりキャンプ in たいない

【お買い物チャレンジ】

【子育て豆知識講座】

国際交流キャンプ

【夜、花火で交流】

【留学生の文化紹介・体験】

近隣校の活動紹介

きのと小学校【松葉かき活動】

自然の家の人気プログラムである野外炊さんに欠かせないのが、着火剤となる松葉です。ボランティア活動の一環として、松葉かきを毎年、実施いただき、感謝いたします。



乙中学校【PTA ぽっぽ焼きづくり】

保護者・生徒・職員の皆様に、室内クッキングに新たに加わった新発田市発祥のぽっぽ焼きづくりにチャレンジしていただきました。おいしいぽっぽ焼きに、笑顔あふれる行事となりました。



10月～3月 おすすめ活動プログラム

10月～翌年3月までの期間、自然の家のプログラムを実施する場合、所員が指導いたします。子どもから大人まで、年間を通じて幅広く利用できるのが自然の家です。5人以上の団体であれば、どなたでも利用可能です。HPに掲載されている「とらのまき～活動プログラム集～」や動画等を参考に申込みいただきたいと思います。

なかよく！ スノーアクティビティ

スノーシューで森林浴・健康づくり

森林浴と健康づくりに赤松林を「スノーシュー」で歩いてみよう！
いろいろな動物の足跡やかわいい野ウサギに会えるかもしれません。

赤松林・しばふ広場での雪遊び

「かまくら」や「雪だるま」、「ソリ遊び」など、特におすすめです。

今冬は家の中にもらずに自然の家で雪に親しみ、家族で冬を大いに楽しもう！ 【スノーシュー】



星空観察

赤松に囲まれた静かな自然の家で、きらめく冬の星々を眺めてみませんか。
雪上にスノーキャンドルをつくれば、幻想的な灯りも楽しむことができます！

楽しく！ 屋内アクティビティ①

館内フォトオリエンテーリング

写真をヒントに、館内に隠された「カヌボー」を見つけよう！

館内チャレンジ

8つのチャレンジをクリアして、宝箱を開けるキーワードを見つけよう！

インドアアスレチック

チーム対抗のゲームで熱くなろう！ 知力+体力+チームワーク=高得点！！

【館内フォトオリエンテーリング】



おいしく 元気に！ 屋内アクティビティ②

ぽっぽ焼きづくり



米粉ピザづくり



うどん打ち



もちつき

